

ニシキキンカメムシ

Poecilocoris splendidus

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

体長16～20mm程度。光沢のある金緑色の体色に赤紫色の帯紋を持つ、非常に美しい種。山地に生息し、幼虫はツゲを食べる。5齢幼虫がウラジロガシやツゲの葉裏などで越冬し、翌春に成虫となる。



写真提供：森正人

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、上郡町、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			

特記事項

要調査種から要注目種に変更

2022年に佐用町、上郡町で発見された。ツゲ群落に依存。シカ不嗜好性のため、生息環境はむしろ拡大。

保護上の留意点